



川瀬巴水展

◆川瀬巴水展

川瀬巴水（本名：文治郎）は、日本の新しい浮世絵版画である「新版画」を確立した人物として知られています。大正7年から40年間にわたり、日本中を旅し600点以上の作品を残しました。

江戸時代の木版画に比べ新版画は刷り度数が圧倒的に多く、木版画とは思えない臨場感のある仕上がりであるため外国人にたいへん好まれました。

今回は、昭和5年に制作された「手賀沼」をはじめ、約150点の作品を展示します。

最後の浮世絵「新版画」の持つ魅力をぜひご覧ください。

○開催期間：令和元年6月22日（土）～6月30日（日）

○入場時間：10時～18時

○開催場所：あびこ市民プラザ（あびこショッピングプラザ内3階）

○入 場 料：1000円（中学生以下無料）各種イベントも参加いただけます。

※当日に限り、チケットの半券を提示していただければ何回でも再入場可。

翌日以降は、チケットの半券を提示すれば500円で再入場できます。

※チケットの販売は、ギャラリーヌーベルあびこ店（あびこショッピングプラザ3階）、シミズメガネ各店でを行っています。

<同時開催イベント>

・6月22日（土）14時～15時30分

落語「親子酒」「井戸の茶碗」 出演：むかし家今松

・6月23日（日）13時～13時40分、15時～15時40分

ギャラリートーク 講師：渡邊 章一郎

・6月25日（火）15時～16時

講演「巴水の生き方、どんな人」 講師：鈴木 昇

・6月29日（土）15時～16時

講演「大正新版画と巴水」 講師：鈴木 昇

・6月30日（土）15時～16時

講演「巴水から学ぶこと」 講師：鈴木 昇

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会

生涯学習部 文化・スポーツ課

担当 木村 郡山 和田

☎ 04-7185-1601（直通）